

地元陶工組入居、案内所を開設

東濃信金で観光発信

駄知支店移転オープン



駄知陶磁器工業協同組合が入居した東濃信用金庫の駄知支店＝土岐市駄知町

東濃信用金庫(多治見市)は1日、土岐市駄知町の駄知支店を敷地内に新築移転オープンした。駄知陶磁器工業協同組合がテナントとして入居し、組合が観光案内所を設ける。

来年初め100周年を迎えるのに合わせ、合併前の金融機関の本店があった2支店を順次新築してきた。

店舗は鉄骨2階建て、延べ約610平方メートル。店舗内は木目調とし、ロビーに美濃焼の展示ギャラリーを設け、窯元の煙突をイメージした外観とした。

駄知陶工組は約200メートル離れた場所から支店1階に事務所を移転。現金自動預払機(ATM)と同じスペースに「美濃焼インフォメ

ーション」としてデジタルサイネージ(電子看板)を設置し、窯元やイベントの紹介、観光名所の情報を発信していく。

式典に臨んだ加知康之理事長は「喫茶店を併設した土岐支店のリニューアルに続き、ホップ、ステップ、ジャンプで来年の本店新築オープンにつなげていきたい」と話した。